

「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞

当社は、2010年11月、2010年度「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」を受賞しました。

「ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰」とは、多様な働き方の導入や仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現を推進するために先進的な取り組みをしている兵庫県下の企業・団体等を表彰しているものです。

当社は、「女性にとって働きやすい職場とは、男性にとっても働きやすい職場である」との認識のもと、男女の区別なくいきいきと能力を発揮して働ける職場づくりに取り組んでいます。特に、女性従業員の比率を2028年3月末までに25%に引き上げるという目標を設定し、業界に先駆けて女性の能力活用を積極的に推進しており、すでに3交替製の製造現場でも女性が活躍しています。こうした当社の先進的な取り組みが高く評価され、受賞に至りました。

当社は、今後も従業員一人ひとりが、仕事と生活のバランスを取りながら、いきいきと能力を発揮して働ける職場環境の整備に向け、さらなる取り組みを進めてまいります。



ワーク・ライフ・バランス講演会を開催

2011年3月、(株)東レ経営研究所特別顧問の佐々木常夫氏を本社にお招きし、「部下を定時に帰す仕事術」と題した講演会を開催しました。佐々木氏は、ワーク・ライフ・バランスの実践者として広く知られ、多忙な業務の傍ら、私生活では自閉症のご子息とうつ病の奥様の看病にあたられるなど、限られた時間の中で、最大限の効果をあげる仕事術を実践されてきました。

講演の様子は、テレビ会議システムを使って、支社・支店へも配信され、多くの聴講者が耳を傾けました。

(講演会に参加して)

ワーク・ライフ・バランスという言葉に、「どちらかまたは両方が中途半端なのだろう」とマイナスのイメージを持つ人がいるかもしれません。佐々木さんのお話は、そんなイメージを拭い去るとともに、長年の経験に裏打ちされた説得力のあるものでした。

実践されている事は、計画を立てる、効率化、優先順位付け、品質を決める等一つひとつは皆耳慣れたものでも、徹底することで大きな成果をあげておられます。私も佐々木さんの手法に倣っていますが容易でなく、試行錯誤を日々繰り返しています。

人事・労政部 人事グループ長 安達恵理子



マタニティ作業服が誕生

研究所や製造現場など、作業服を着ている従業員からの要望を受け、マタニティ作業服を考案しました。ウエストとお腹周りは伸縮性に富んだニット素材を使用、深めの股上で、お腹をすっぽり包みます。また着脱が簡単にできるようファスナーは無く、ウエストサイズは左右のゴムで調節可能です。

妊婦の方の意見を取り入れ、試着会を開くなど改良を重ねたもので、着心地が良いと好評です。

